平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB			授業コード	C172551
担当教員名	高山　池田、園田、竹本、片山、川崎、島元、武村			科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	積極的に問題を解いていくこと。また、授業時間以外でも問題解いていく意欲が必要です。				
受講心得	就職試験を受ける際に必要な、基礎数学を各自で解いていきます。毎回、授業に出席するようにして ください。				
教科書	配布テキスト				
参考文献及び指定図書	無				
関連科目					

授業の目的	就職試験を受ける時の数理基礎力をつけることが目的です。
授業の概要	配布テキストを各自で解いていきます。もし、時間内にできない場合は宿題となります。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : ガイダンス 授業の概要と2週目まで解答できるテキストを配布します。配布問題を各自で解答していきます。	配布物 テキスト配布 有理数
第 2 週 : 数の計算 第1週目の解答を行い、配布テキストを各自で解答していきます。	課題 最大公約数
第 3 週 : 基本的な文章問題 第2週目の解答を行い、配布テキストを各自で解答していきます。	課題 割合に関する問題
第 4 週 : 基本的な文章問題 第3週目の解答を行い、配布テキストを各自で解答していきます。	課題 速さに関する問題
第 5 週 : 計量 第4週目の解答を行い、配布テキストを各自で解答していきます。	課題 図形と角度
第 6 週 : 小テスト及び解説 第4週目の解答を行い、第1週から第5週までの小テストを行います。	
第 7 週 : 式の計算 小テストの解答を行い。配布テキストを各自で解答していきます。	課題 多項式の加法と減法 多項式の情報
第 8 週 : 式の計算 小テストの解答を行い。配布テキストを各自で解答していきます。	課題 因数分解、整式の最大公約数と最小公倍数
第 9 週 : 方程式と不等式 第8週目の解答を行い、配布テキストを各自で解答していきます。	課題 1次方程式と1次不等式 2次方程式と連立方程式
第10週 : 図形と計量 第9週目の解答を行い、配布テキストを各自で解答していきます。	課題 三角比 三角比の拡張
第11週 : 図形と計量	課題

第10週目の解答を行い、配布テキストを各自で解答していきます。	三角形の面積 相似な図形の面積比
第12週： 図形と計量 第11週目の解答を行い、配布テキストを各自で解答していきます。	**課題** 実践問題
第13週： 三角関数 第12週目の解答を行い、配布テキストを各自で解答していきます。	**課題** 角の拡張 三角関数の性質
第14週： 三角関数 第13週目の解答を行い、配布テキストを各自で解答していきます。	**課題** 三角関数の加法定理 加法定理の応用
第15週： 図形と計量 第13週目の解答を行います。配布テキストを各自で解答した後解答を行います。	**課題** 実践問題(提出)
第16週： 期末試験	総合テスト

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	積極的に問題を取り組む。 数理に興味を持つようになる
【知識・理解】	基礎力をつける。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	文章問題を読み取ることができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**10点**	**10点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**30点**	**10点**		
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**30点**	**10点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	